

わかすぎ

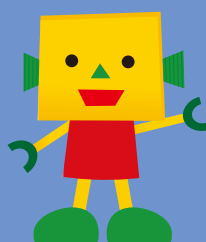
vol. 151

2025. 6



公益財団法人
三重こどもわかもの育成財団
三重県立みえこどもの城指定管理者

〒515-0054
三重県松阪市立野町1291
中部台運動公園内
TEL0598-23-7735 FAX0598-23-7792
ホームページ <https://www.mie-cc.or.jp>



財団のシンボルマーク

地域社会の大きな枝葉が、子どもや若者や家族を温かく包み込むように支えるマークとなっています。中心の円の三色はそれぞれ黄色は「子ども」、橙色は「若者」、青色は「家族」を表しており、地域社会とともに育成支援をしていこうという当財団の思いを表しています。

中学生のメッセージ2024



作文第2次審査会の様子

中学生のメッセージは、8月31日(土)に御浜町で開催の予定でしたが、台風10号の影響を考慮し、中止とさせていただきます。

県内72校から応募いただいた9,215点にのぼる作文のうち、最終審査に残った14点について審査委員による論旨評価を行い、それぞれの賞を決定しました。

また、開催予定であった御浜町中央公民館では紀南地区の中学生によるデザイン画を展示し、地元の皆さまに見ていただく機会を設けました。

令和7年度は、三泗地区(川越町)で開催予定です。

中学生のメッセージ2024 受賞者一覧



不登校になってわかったこと

むら た か のん
村田 薫音 さん 松阪市立殿町中学校 3年

私はパニック障害になったことがきっかけで不登校になってしまいました。
現代では私のような不登校児童生徒や隠れ不登校児童生徒が増えていますが、理由は様々であります。そんな中で不登校の子たちの不安を取り除くためには、周囲の支えが大切であると考えます。



最優秀賞の村田薫音さんの作文は、財団ホームページ (<http://www.mie-cc.or.jp/ikuseihp>) に掲載しています。



伝統を守るために

さか た まな と
坂田 愛将 さん 四日市市立塩浜中学校 3年

あいさつは人とのつながり

まつ うら
松浦 ひかり さん 伊賀市立城東中学校 3年

時代の変化に逆らって伝えるべきこと

まつ だ な な
松田 菜那 さん 明和町立明和中学校 3年



長所と短所

おの う え さ ら
尾上 彩楽 さん 紀北町立潮南中学校 3年

障がい者に私たちができること

かわ ば た な な こ
川端 菜夏子 さん 熊野市立有馬中学校 3年

日常の中で見つけた宝物

き た こ こ み
喜田 心美 さん 熊野市立木本中学校 3年

マスクを取って、笑い合おう

さい だ な ゆ か
斉田 苗悠可 さん 松阪市立殿町中学校 2年

悩みを理解し合える社会へ

さか い ち さき
坂井 智咲 さん 津市立西橋内中学校 2年

世界平和を願って

なる かわ こ はる
生川 瑚晴 さん 四日市市立西朝明中学校 3年

努力は人を輝かせる

ひき し ま み ひろ
疋嶋 美拓 さん 紀宝町立矢渕中学校 3年

分かっている、知っているつもりでも

ひ だ か れい き
日高 伶紀 さん 名張市立名張中学校 3年

共感すること、認め合うこと

ふじ さき こう せい
藤崎 皇成 さん 伊賀市立崇広中学校 1年

命の大切さ

ふじ もと さ さ
藤本 咲色 さん 名張市立南中学校 1年

デザイン画

紀南地区の中学生を対象にデザイン画を募集し、御浜町中央公民館ロビーで作品展を開催しました。

デザイン画 最優秀賞

「光をめざして」

紀宝町立矢測中学校 2年 平田 夏妃 さん



デザイン画最優秀賞作品

デザイン画 協力中学校

熊野市立木本中学校・熊野市立有馬中学校
熊野市立飛鳥中学校・熊野市立入鹿中学校
御浜町立御浜中学校・御浜町立阿田和中学校
御浜町立尾呂志学園中学校
紀宝町立相野谷中学校・御浜町立矢測中学校



デザイン画作品展(御浜町中央公民館)

運営協力中学校

大会が中止になり、発表はできませんでしたが、紀南地区の中学生の皆さんには大会に向けてたくさんの準備をしていただきました。

司会・受付・案内 表彰アシスタント

御浜町立阿田和中学校(司会)・紀宝町立相野谷中学校(受付)・紀宝町立矢測中学校(案内)
御浜町立御浜中学校(表彰アシスタント)

実践発表

熊野市立入鹿中学校(太鼓)・熊野市立有馬中学校・木本中学校合同(吹奏楽)



太鼓演奏(熊野市立入鹿中学校の皆さん)



吹奏楽(熊野市立有馬中学校吹奏楽部の皆さん)



吹奏楽(熊野市立木本中学校吹奏楽部の皆さん)

審査委員

※敬称略、順不同

審査委員長

公益財団法人三重こどもわかもの育成財団 理事 垣本 美和

審査委員

三重テレビ放送株式会社 常務取締役
熊野市教育委員会 教育長
紀宝町教育委員会 教育長
三重県小中学校長会 幹事

間野 丈夫
倉本 勝也
西 章
矢田 哲也

三重県PTA連合会 会長
三重県私学協会
三重県教職員組合 中央執行副委員長
三重県子ども・福祉部 次長

木原 剛弘
高木 達成
本田 実
高山 功太

ご協力いただいた企業・団体様

※五十音順、敬称略

株式会社アーステック TAGAWA、株式会社アカサカスポーツ、伊賀ふるさと農業協同組合、イセット株式会社、伊勢農業協同組合、イノキ防災
有限会社岡井博進堂、岡三証券株式会社津支店、紙小津産業株式会社、紀宝町商工会、紀北信用金庫、株式会社ぎゅーとら
一般財団法人熊野市ふるさと振興公社、熊野商工会議所、熊野ライオンズクラブ、熊野ロータリークラブ、桑名三重信用金庫、グッディ
コスモスベリーズ松阪店、株式会社三十三銀行、JAバンク三重、事務機ナガサカ、瀬古食品有限会社、株式会社ぜにや、多気郡農業協同組合
田端創建株式会社、竹輝銅庵 JSJT.CO.,LTD.、株式会社司、デュプロ販売株式会社三重営業所、東海労働金庫、東邦液化ガス株式会社
有限会社トータルインテリアタグチ、株式会社ナカムラ、有限会社南紀新報社、野村證券株式会社津支店、日本土木工業株式会社
パイロットインキ株式会社、丸安青果、株式会社百五銀行、有限会社プラスサポート、北越コーポレーション株式会社紀州工場
保険企画サポート24、株式会社松阪電子計算センター、公益社団法人三重県医師会、公益社団法人三重県歯科医師会
特定非営利活動法人三重県歯科衛生士会、一般社団法人三重県薬剤師会、三重交通株式会社、三重コニックス株式会社、株式会社三角田工業
南建設有限会社、有限会社御浜柑橘、有限会社山室石油、吉野熊野新聞社有限会社、株式会社 River Top、株式会社リンクフジカワ

青少年育成市町民会議 活動紹介

三重県青少年育成市町民会議連合会の各支部では、青少年の健全育成を目的とし、様々な活動を行っています。今回は、南勢志摩支部の3つの市町をご紹介します。

南勢志摩支部 伊勢市青少年育成市民会議

伊勢市青少年市民会議は、平成17年の市町村合併を契機として支部制でスタートし、平成20年度から伊勢市青少年育成市民会議として一本化され、各中学校区に健全育成協議会を設立しました。現在、市内10中学校区の健育組織の集合体としての活動とそれぞれの健全育成協議会単体の活動を並行して実施しています。

ここでは、伊勢市青少年健全育成協議会としての活動を紹介します。

昨年7月に桑井塾の桑井龍三代表を講師に迎え、小学生とその保護者を対象に洗濯たみの実践を交えて親子で家事やお手伝いの大切さを学ぶ講座を実施しました。8月には、みえこどもの城の「移動児童館」を活用し、工作活動を通じた親子の触れ合いの機会を設けました。また、12月には運営委員会で「LGBTQ+」の研修会を計画し、「カウンセリングルームhatake」の大橋奏人代表をお迎えし、お話しいただき、充実した研修となりました。

今年11月には、一昨年もご講演いただいた兵庫県立大学の竹内和雄教授に南勢志摩地区こどもわかもの育成支援のための支部研修会として、青少年のSNSにかかわって「闇バイト」や「オンラインカジノ」などスマホ時代の課題や解決策についてご教示いただく予定です。



伊勢市青少年育成市民会議 総会



移動児童館 (工作)



桑井塾の講座

南勢志摩支部 度会町青少年育成町民会議

度会町青少年育成町民会議は、青少年問題の持つ重要性を深く認識し、次代の郷土をにう青少年の健全な育成を図ることを目的とし、昭和55年4月に設立され、健全育成部会、指導員部会、読書推進部会の3つの部会により活動しています。

健全育成部会では、9月にサップ体験、11月にパン教室を開催しました。指導員部会では、定期的な青色パトロールや、夏休み期間中の夜間パトロールを行っています。さらに、広報誌「しどう」を発行し、青少年の非行防止に努めています。

読書推進部会では、町内施設で、毎月読み聞かせ会を開催しています。

また、11月には町民体育館で南勢志摩地区こどもわかもの育成支援のための支部研修会を開催し、ヤングケアラーをテーマに、その概要や支援の必要性などについて意識を高めることができました。

今後も、関係団体と連携し、子どもたちがさまざまな体験や出会いを通じ、豊かな心を育むよう、青少年の健全育成活動を推進していきたいと思っています。



サップ体験



パン教室



南勢志摩地区こどもわかもの育成支援のための支部研修会

大紀町青少年育成町民会議は、環境非行防止部会、教育活動部会、啓発活動部会の3部会から構成されています。本会議は青少年のもつ重要性を深く認識し、関係機関との緊密な連携をはかりながら、住民の協力を得て町民総ぐるみで青少年の健全育成を推進することを目的としています。また、本会議においては年々減少している子どもたちの自然とのふれあい体験に重きを置いています。令和6年度は、「ふれあい鮎つかみ大会」、「ふれあい魚釣り大会」、「みんなでフラワーアレンジメント」の3つのイベントを企画・開催しました。これらのイベントを通して郷土愛を育み、また親子や友人と協力することで子どもたちの健全育成に寄与しています。

夏季には環境非行防止部会を主とした青色パトロールを実施していますが、少子化のため、今後の継続を疑問視する声もあります。これは他の市町も共通してくる課題かと思われませんが、現段階ではスマートフォンの普及に付随するSNS等のインターネットモラル講座を学校等に行う検討を視野に入れております。



ふれあい魚釣り大会



みんなでフラワーアレンジメント



ふれあい鮎つかみ大会

令和6年度

公益財団法人三重こどもわかもの育成財団表彰

子ども若者の育成支援にご尽力いただいた方々を表彰しています。
本年度は、個人の部(青少年指導者)8名、団体の部1団体の表彰を行いました。
受賞者の皆さまには、今後益々のご活躍を期待します。おめでとうございます。

受賞者紹介 ※敬称略

個人の部(青少年指導者)

いなべ市 ^{すぎやま} 杉山 ^{えつお} 悦郎

平成26年から青少年健全育成市民活動に携わり、令和4年から令和6年5月までいなべ市青少年育成市民会議会長を務められた。また、令和5年度には公益財団法人三重こどもわかもの育成財団と協働開催した「中学生のメッセージ2023」の実行委員長として、いなべ市開催に尽力された。

伊勢市 ^{さかむら} 坂村 ^{はるみ} 春美

平成15年から小保町青少年育成町民会議の副会長として、健全育成活動を行う傍ら、民生委員・児童委員、子どもリズム体操講師としても活動されている。平成26年からは、伊勢市青少年育成市民会議の副会長、令和6年度からは会長を務められている。さらに小保中学校評議員や警察協働員として子どもたちのための活動もされている。

伊勢市 ^{せこ} 世古 ^{かずひさ} 和久

平成18年4月から現在に至るまで、御園中学校区の青少年健全育成協議会の活動を軸に、約18年間にわたって地域における青少年健全育成活動の中心的役割を果たされている。平成26年度からは伊勢市青少年育成市民会議の代表として有害環境浄化活動のための立入調査員を4年間務められ、青少年健全育成活動に大きく貢献された。

伊賀市 ^{なかい} 中井 ^{こういち} 洸一

平成17年からあやま人づくり市民会議の立ち上げから副会長として活動に参加され、令和元年度から会長に就任された。また、伊賀市青少年育成市民会議の前団体の立ち上げから理事として参加され、現在は会長を務められている。各団体では、研修会の開催や広報誌の発行等、青少年の健全育成に大きく貢献されている。

尾鷲市 ^{ほりうち} 堀内 ^{ひろこ} 広子

昭和54年に電気店を始めたときに店の前が通学路だと知り、交通量が多いことを懸念して、自主的に見守り活動を開始された。以後、45年に渡って毎日登校時の子どもたちの見守りを継続されている。また、駅前交番連絡協議会や尾鷲市少年指導員の会に所属され、令和元年からは尾鷲市青少年育成市民会議の役員としても活躍されている。

紀北町 ^{つむら} 津村 ^{じゅん} 淳

平成8年から紀北町青少年育成協議会の前身である海山町青少年育成町民会議に所属され、長年にわたり会計を務められた。また、夜間パトロールや教育講演会、親子ふれあい事業など各種事業に積極的に参加されている。近年においては紀北町青少年育成協議会会長として青少年育成活動の中心として活躍されている。

紀宝町 ^{おかほな} 岡鼻 ^{ひでと} 秀人

平成9年から成川地区青少年育成部及び紀宝町青少年育成町民会議に所属され、つり大会やウォークラリー等、子どもたちがあらゆる世代の人々との絆を深めることができる体験活動事業を行われた。成川地区育成部長を退任後も町民会議の主要役員を歴任され、令和5年から副会長を務められるなど、青少年健全育成に多大な貢献をされている。

紀宝町 ^{かじや} 梶屋 ^{きいち} 喜一

平成11年から紀宝町青少年育成町民会議の前身である鶴殿村青少年育成村民会議に所属され、月に一度、小中学校の登校時の校門であいさつ運動が行われている。また、夏休みのラジオ体操や子どもバスツアー等、子どもたちがあらゆる世代の人々と、絆を深めることができる体験や交流活動に積極的に携わられている。

団体の部

伊賀市
あやま人づくり市民会議

平成17年の設立から阿山地域において青少年の非行防止及び事故防止活動、家庭や地域の教育力向上のための活動、青少年の豊かな情操を育てるための活動が行われている。主な事業としては、夏季夜間パトロール、子どもの集い、標語コンテスト等を多年にわたり行い、子どもたちの健全育成を図るとともに、広く人づくり・地域づくりに貢献されている。



表彰式の記念撮影

財団設立20周年記念講演会 ～三重こどもわかもの育成財団は20周年を迎えました～



令和6年4月、三重こどもわかもの育成財団は設立から20年を迎え、これを記念して、令和6年9月18日に記念講演会を開催しました。

権利尊重の出発点ともいえる『子どもの声を聴くこと』への理解や課題の共有を目的に、三重県総合文化センターで開催した講演会では、映画「こどもかいぎ」監督の豪田トモさんによる「子どもの対話の場の必要性和子どもの声を聴くコツ」をテーマとした講演と、当財団の調査研究事業「コドモ1000ボイス」の成果発表を行いました。三重の子ども・若者の育ちをともに支えていただいている企業・団体をはじめ、たくさんの児童養護施設の職員・関係者が熱心にご参加いただき、講演後も質問が続くなど、子どもの声を聴くことに対する関心の高さが伺えました。

参加者からは、「今日教えてもらったこども会議のやり方を実践してみたい」、「子どもの意見を聴き、いろいろな話し合いができるようにしていきたい」などの声をいただきました。

当財団としても、そうした方々とともに子どもの声をしっかりと受け止められる取組の実現をめざしていきます。



みえこどもの城調査研究事業「コドモ1000ボイス」を実施しました！

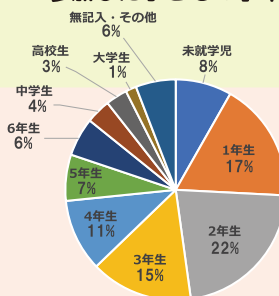
みえこどもの城では令和5年10月から11月に、「大人に言いたいこと」「大人にお願いしたいこと」をテーマに、子どもが身近な大人、社会の大人たちに対して日頃思っていることを「声」として集めました。

いただいた声には、身近な大人に対して、率直な要求をぶつけるもの、大人を気遣い、感謝を伝えるもの、社会全体に向けて大人を叱咤激励するようなもの、率直な本音にハッとさせられるものなど、子どもたちの様々な思いが詰まっています。

●調査方法

対象：みえこどもの城のイベントに参加した0歳から20歳代の男女
調査方法：メッセージ記入用紙を配布・回収
実施期間：令和5年10月1日～11月30日
実施場所：みえこどもの城館内および県内小型児童館ほか
有効回答者数：887人(3歳～21歳)

参加した子どもの学年

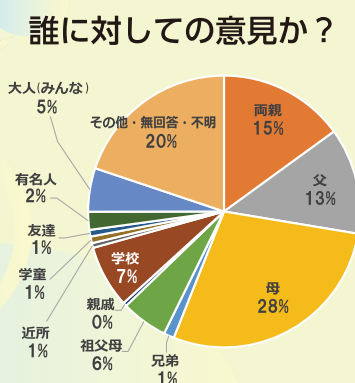


集まった声の一部をご紹介します。

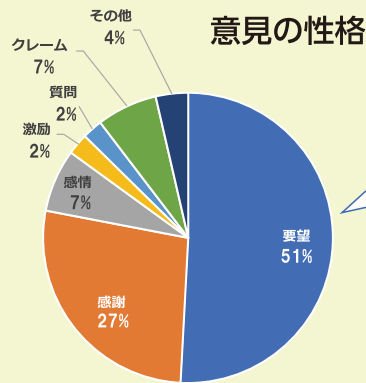
- お姉ちゃんよりも、わたしのことを、もっとだいじにしてほしい。(小学4年生)
- 「だいすき」って言ってほしい！(小学1年生)
- いつも家事や仕事、がんばってくれてありがとう！でもむりしないでね！(小学5年生)
- 先生が言うことはすべて嬉しいのか(小学5年生)
- クワガタをとるのを手つだってほしい。(小学2年生)
- 将来、どんな仕事をしていいかわからない！(小学6年生)
- おとうさん、7時にかえってよう！しごとにむちゅうにならないで！(小学1年生)

また、集めた声を、誰に対しての声か、その声の性格は、などいくつかの項目を設定し、子どもの成長段階と意見の相手や性格等の傾向で分析しました。

誰に対しての意見か？



意見の性格



「要望」に関するメッセージで多く出現した単語ランキング

- | | | |
|-----|--------|------|
| 第1位 | 「宿題」 | (27) |
| 第2位 | 「ゲーム」 | (25) |
| 第3位 | 「一緒」 | (20) |
| 第4位 | 「お小遣い」 | (19) |
| 第5位 | 「お母さん」 | (13) |
| 第6位 | 「学校」 | (12) |
| 第7位 | 「子ども」 | (10) |
| 第8位 | 「パパ」 | (9) |
| 第9位 | 「公園」 | (8) |
| | 「お金」 | (8) |
| | 「プール」 | (8) |

※()内は単語出現数

本調査の報告書と集まった声は、下記のQRコードからダウンロードし、どこでもご覧いただけます。

この子どもたちの声が一歩でも多くの大人に届くことで、子どもへの関心や理解が深まり、子どもの育ちを支えることのできる地域社会の実現の一助になればと思っています。



コドモ1000ボイス報告書



集まった声

- ・半分以上が親(父、母、両親)への意見でした。
- ・次に多かったのが、学校(先生)への意見でした。

- ・一番多い意見の性格は、「要望」でした。〇〇が欲しい、〇〇へ行きたい、お小遣いを増やしてほしいなどの意見が多かったです。
- ・次に多かったのが、「感謝」でした。家族への感謝の言葉が多かったですが、地域の人や学校の先生への言葉もありました。

みえこどもの城「キッズスタッフ」大活躍

～ キッズスタッフのノウハウが光る！ 家族みんなで遊べるイベントづくり！ ～

令和6年度、4年目に突入したキッズスタッフ！

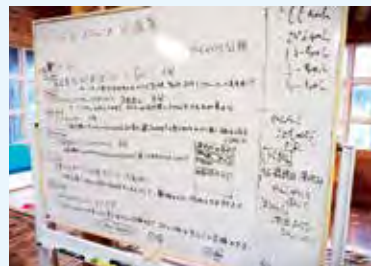
新メンバーを迎える中で、最年長の6年生スタッフが、この4年間で習得した様々なアイデアや工夫でメンバーをひっぱってくれました。

キッズスタッフでの主な活動

1 遊びを企画

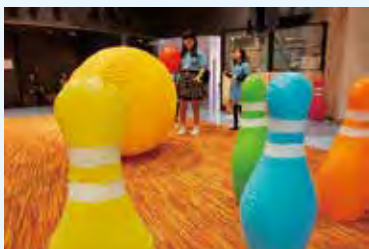
どんなイベントにするか、皆でアイデアを出し合います。

自分たちが楽しめるイベントも大切だけど、「小さな子や大人も一緒に楽しめるかどうか」も考えて、「でかでかボーリング」や「絵合わせリレー」など、家族で一緒に参加できるイベントを全部で10企画考えました。



2 イベントを運営

イベント当日のキッズスタッフは、館内放送や丁寧な声かけによる参加者集めに始まり、参加者への説明やアテンド、急な運営変更にもきちんと対応できるなど十分な動きを見せてくれています。さらに、参加者への気遣い、最後の後片付けまでしっかりでき、みえこどもの城スタッフにとって頼れる存在になっています。



3 地域と協力してコラボイベントを開催

三重県交通安全協会と協力して、「キッズのための交通安全フェスタ」のステージ発表コーナーで「交通安全〇×クイズ大会」を開催。85名の親子が参加してくれました。

キッズスタッフからは、横断歩道や道路の付近で遊ぶ時の注意点に着目した問題を出題！

小学生ならではの視点に大人がうなる場面も。



【令和6年度キッズスタッフの感想】(アンケートより)

- 新しい友だちができた
- 参加してくれた人の笑顔や笑いがうれしかった
- 6年生最後にイベントでがんばれてよかった。
- 相手がいい気持ちになれるように、言葉を考えるのがむずかしかった。
- 自分たちの企画に小さい子があつまってくれてうれしかった♡

【担当スタッフから見たキッズスタッフ】

役割分担や進行について色々な工夫がみられ、イベントをどんな風に運営したいかがよくわかるようになった。また、遊びに来てくれる子どもたちの年齢を自ら分析して、遊びの内容を考えたり、もし内容がむずかしかったらこうしてみよう！などの試行錯誤もできるようになった。



第3回 高校生☆プラネタリウムコンテスト

令和7年3月16日(日)

第3回となった高校生によるプラネタリウムコンテストに、8組34名が参加。

県内の高校生が、個人やグループでプラネタリウム作品を制作、みえこどもの城のドームシアターで発表を行い、さまざまな分野の専門家の審査によって最優秀賞2作品、特別賞1作品を決定しました。

毎年参加の高校は、先輩のノウハウを受け継いでよりよい作品をめざし、今回初参加の高校は、天文の勉強からスタートして試行錯誤しながら制作に取り組み、今回もそれぞれの部活やグループによる個性豊かな作品が出そろいました。

審査員からは、「それぞれのねらいやテーマの取り上げ方がおもしろく、評価が難しかった」「テーマや視点も異なり、生徒たちの探求心を感じた」など、高い評価をいただきました。また、「自分の想いをいかに伝えるかも大事。本物に多く触れ、経験を積んでほしい」といった、今後につながる助言もありました。

参加チームからは「話し合って問題を解決したり、自主的に発言したりできるようになった」「難しいチャレンジではあったが、非常に有意義な機会になった」などの言葉があり、高校生自身も成長を感じられる大きな経験となったようです。

- ◆参加校：桑名高等学校、四日市高等学校、上野高等学校
松阪高等学校、高田高等学校、三重高等学校
- ◆後援：三重県、三重県教育委員会
- ◆協力：三重県内スーパーサイエンスハイスクール指定校
- ◆審査員：国立大学法人三重大学教育学部長 伊藤信成
※敬称略・順不同 天文研究家 あさだ考房代表 浅田英夫
高田短期大学図書館長(前三重県立博物館館長) 大野照文
三重県教育委員会教育長 福永和伸
児童文学作家 村上しいこ



受賞名	高校名	作品タイトル
地球科学・環境部門 最優秀賞	桑名高等学校 MIRAI研究所	太陽光発電は万能なの？
宇宙・星空(天文)部門 最優秀賞	四日市高等学校 放送部	Cosmos Care Radio
特別賞	松阪高等学校 SSC	色とりどりの道しるべ



サイエンスひろば

令和7年2月22日(土)、23日(日・祝)

- ◆参加人数：4,260名
- ◆参加企業・団体・学校：7団体
- ◆参加企業・団体・学校スタッフ：65名

- ◆参加企業・団体・学校
四日市工業高等学校ものづくり創造専攻科、三重中学校・三重高等学校
皇學館大学教育学部、WDB株式会社エウレカ社、株式会社サンエル
三重県総合博物館、みえこどもの城ボランティア

県内の中学校、高等学校、大学の学生が、日頃の学習や研究の成果を生かし、企業等と一緒に、子どもたちに向けた楽しく不思議な科学実験や工作の体験などを行いました。

学生からは「自分たちが工夫して、準備した体験を喜んでもらえていい経験になった」「子どもたちの『めっちゃ楽しかった！』が多く聞けて嬉しかった」などの感想がありました。日頃の学習や研究についても気づきのあるイベントになったようです。



土の中の様子を観察してみよう！



水につけると絵が消える!?



プログラミングで飛ばそうドローン！



ぱたぱたはばたく鳥をつくろう！

海辺の生き物観察会

令和6年7月15日(月・祝)

全国的にも貴重な環境が揃う松名瀬干潟で、ふだんから調査や研究などの活動をしている三重中学校・三重高等学校科学技術部の生徒20名にも先生として協力してもらいました。

子どもたちは「おっさいカニつかまえた!」「これはなんていう貝?」など、はしゃぎながら中高生の先生たちに尋ねるなど、地元の環境や生き物に関心を持つ機会になりました。

中高生も、自分たちが研究し大切にしているものに興味を持って質問されることで、伝えることの大切さや面白さを感じられたようです。



流木に付着した生き物を説明する中高生



子どもたちが見つけた生き物を説明する中高生

三重県工業高校生フェア in みえこどもの城

令和6年8月24日(土)

県内の工業高校が毎年開催している「三重県工業高校生フェア」

令和6年度は、子どもたちに工業高校の魅力を体験してもらおうと、当財団との共催によりみえこどもの城で初めての開催となりました。

ロボットやドローンの操縦体験、プログラミング体験、木工や陶芸などのものづくり体験、EVカーや家具などの生徒作品の展示など、普段は体験するのが難しい興味深いものばかり。当日は生徒40名ほどが日頃学んでいることを子どもたちが取り組めるように工夫して提供したり、来場した子どもからお年寄りまでさまざまな年代の方々への声掛けなどをしたりと活躍する姿が見られました。

反省会の中では「もっと高校生が主体のイベントになっていくといい」と、より一層の高校生の活躍を求める期待の声もあがっています。



液晶アクセサリづくり



忍者道具づくり



プログラミング体験

作って楽しいものづくり教室

令和6年11月16日(土)、11月30日(土)

四日市工業高等学校ものづくり創造専攻科の皆さんの提供によるものづくり教室。お兄さんたちに教わりながら、子どもたちがものづくりを楽しんでいます。

そこには、学生の皆さんのどういう準備をしたら子どもたちが楽しく作れるだろう、どんな言葉かけをしたら、分かりやすく伝わるだろう、さらに2日目はキットのデザインを少し変えてみようなど、事前準備からイベント中までしっかりと子どもたちと向き合い、前向きにイベントに取り組む姿がありました。

学生の皆さんからは、「学校では学べない経験をさせてもらえて貴重な時間でした」との言葉をいただきました。



学生から子どもたちへ説明



木製「しろぼ」づくり



ゴム鉄砲づくり

令和6年6月29日(土)、30日(日)、7月6日(土)、7日(日)

11回目となる「キッズ☆おしごと広場」は、30種のおしごと体験を4日間に分けて開催しました。体験した子どもたちからは、「お姉さんがやさしく教えてくれたから上手にできた」「両親と同じ仕事を体験したくてこのおしごとを選びました」「憧れていたお仕事の体験ができてうれしかった」「体験中はしっかりお話を聞くことをがんばった」など、それぞれが、さまざまな思いを持って体験してもらえた4日間でした。

◆参加人数：1,572名

◆参加企業・団体：30企業・団体

◆協力企業・団体スタッフ：152名

◆学生ボランティア：69名



参加企業・団体



株式会社あかり屋、旭電気株式会社、旭美容専門学校、イセツ株式会社
 有限会社上野屋、宇野重工株式会社、株式会社エスト、岡三証券株式会社
 有限会社ケアステーションたきび、株式会社三十三銀行、株式会社JPF松阪事業所
 下津醤油株式会社、有限会社深緑茶房、社会福祉法人長寿会なでしこ苑
 野村證券株式会社、株式会社はぐみ、万協製菓株式会社、株式会社ボンタイム
 松阪飯南森林組合&三重県松阪農林事務所、松阪警察署
 松阪ケーブルテレビ・ステーション株式会社、松阪市民病院
 松阪地区広域消防組合 松阪中消防署、公益社団法人三重県歯科医師会
 特定非営利活動法人三重県歯科衛生士会松阪支部、社会福祉法人三重県社会福祉協議会
 一般社団法人三重県助産師会、一般社団法人三重県理学療法士会
 三重コニックス株式会社、株式会社ミツイバウ・マテリアル

学生ボランティア

皇學館大学、鈴鹿大学短期大学部、高田短期大学、三重大学



◆学生の声

- 恥ずかしがっていた子も体験が進むにつれ笑顔になり最後は自信をもって帰っていく姿がとても印象的でした
- 小さい子が一生懸命作業に取り組む姿を見て感動した
- 自分の就職の方向性についてしっかり考えるきっかけになった
- 企業スタッフの方とたくさん話して今後自分がやるべきことが明確になった

◆企業・団体の声

- 子どもたちとかかわることで自分の仕事のおもしろさを再確認できた
- 普段の仕事で子どもと触れ合う機会が少ないため、楽しんで取り組む姿を見られたのはスタッフにとっても良い機会となった
- 学生ボランティアのサポート力がすばらしく自社に入社してもらいたいくらいです

キッズ☆おしごと広場の
参加者にききました!

将来なりたいおしごとランキング ベスト10

1位 パティシエ 2位 美容師 3位 保育士 4位 医者 5位 警察官
 6位 消防士 7位 看護師 8位 学校の先生 9位 サッカー選手 10位 助産師



アンケートには、約200種類の職業が寄せられ、他にもスポーツ選手や芸能人、ユーチューバー、食べ物屋さんなどが多く見られました。

少数派の中には、恐竜博士や虫博士、発明家のほか、みえこどもの城のスタッフという嬉しい回答もありました。一方、まだ、なりたいものが「ない」子どもも多く、これから出会うものによって将来の目標が見えてくるのも楽しみです。

オレンジリボンキャンペーン2024

～ つながる!ひろがる!みんなの輪 ～

キックオフイベント 令和6年11月2日(土)

12回目となったオレンジリボンキャンペーンのキックオフイベントを開催。

子どもたちの「水風船アート」による巨大オレンジリボンの制作や、企業・団体による「お楽しみブース」、親子で楽しむ「オレンジクロスワード」などを実施しました。



絵の具の入った水風船を投げて



みんなで作った水風船アート
(できあがり楽しみ!)



巨大オレンジリボンの完成!
(絵の具が広がって芸術的に)

- 参加人数：1,539名 ●協力企業・団体：7企業・団体
- 協力企業・団体スタッフ：26名

協力企業・団体

いなべ市青少年育成市民会議／放課後子ども教室ほくせい、尾鷲市青少年育成市民会議、日本土木工業株式会社、株式会社ボンタイム
三重県警察本部、公益社団法人三重県歯科医師会、一般社団法人三重県助産師会・子育て健康支援推進委員会

月間キャンペーン 令和6年11月1日(金)～30日(土)

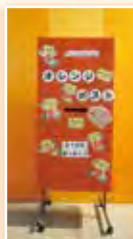
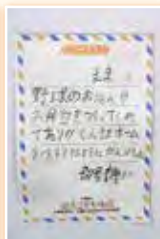
『啓発パネルコーナー』

三重県内の児童虐待に関する情報や子どもを守る組織や団体の紹介、啓発パネル等を設置し、児童虐待防止に向けた啓発を実施。

『オレンジポスト』

子どもの心の内にある思いや、直接は言いにくいこと、誰かに聞いてほしいこと、嬉しかったこと、悲しかったことを手紙に書いて、オレンジポストに投函してもらい、館内掲示や動画での紹介を実施。

- 期間中に届いた手紙：203通



『まるシールアート』

親子や親同士がつながる場所をつくりました。
たくさん子どもたちが参加し、シールを自由に貼ったステキなおうちが完成しました。



伊勢茶を^{ちゃ}楽しん茶お!

令和6年10月20日(日)

三重県で生産されている「伊勢茶」を知って、触れて、飲んで、楽しめるイベントを開催しました。

子どもたちが、自分で焙煎した茶葉をつかって自分でお茶を淹れる一連の体験と、伊勢茶の味を楽しみました。

また、高田短期大学の学生の振り付けによるお茶の手あそびうたを三重中学校・三重高等学校の学生も一緒に楽しんだり、飯南高校美術部の皆さんが伊勢茶ラテアートの実演をしたり、他にもお茶の飲み比べ、手もみ茶体験、お茶刈り機の展示をするなど、お茶づくりの1日でした。

- 参加人数：1,558名 ■協力企業・団体：6企業・団体 ■協力企業・団体スタッフ：23名 ■学生ボランティア：23名

- 共催：NPO法人日本cha茶ちゃ
- 後援：伊勢茶推進協議会

- 協力：飯南高校美術部、高田短期大学、落合刃物工業株式会社、三重県茶業会議所
- 学生ボランティア：三重中学校・三重高等学校



お茶の焙煎・淹れ方体験



お茶の手あそびうた



ラテアートの実演



手もみ茶体験

ドームシアター プラネタリウム

SWS 西日本キッズシアター

ドームシアター プラネタリウムでは、スタッフの生解説による星空案内や、ドームいっぱいに広がる迫力満点の全天周映像をお楽しみいただいています。

そのほか、天文の専門家が旬の天文現象を解説する天文イベント「なにコレ!? プラネタリウム」や JAXA 職員による講演会、小さな子どもから参加できるコンサートなどを行っています。

また、当館では、小学4年生、6年生の理科学習の理解の助けとなるよう、学習指導要領に即した内容で学校団体向けに天文に関する学習番組を用意しています。しかし、現場の先生方からは「授業としてこどもの城に行くのは難しい」とのご意見もあり、利用団体は年々減少しています。

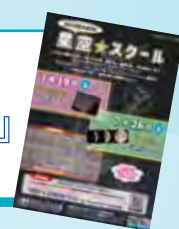
そこで、令和6年度は、新しく、子どもたちが自主的に参加できる夏休みの特別投影「小学4年生のための星空★スクール」を企画しました。異なるテーマで二日間実施しましたが、多くの参加があり、また二日とも参加してくれる子もいました。

参加した子どもたちや保護者から「星空観察の宿題でわからなかった部分を理解できた」などの声もあり、プラネタリウムで実際に星の色や動きなどを見ることが、教科書だけでは難しかった部分への理解度の向上、苦手意識の軽減の助けとなったようです。

令和7年7月19日(土)・7月26日(土)

特別投影 『小学4年生のための 星空★スクール』

夏休みの自由研究、理科の宿題への対応にも役立つ内容になっています。



アート・サイエンススペース



えのぐでおえかき

通じてやりたいことを見つけ、実現する方法を試行錯誤し、自分の思いを達成していく場として、より多彩なメニューを提供しています。

さらに、来館した子どもたちによる共同制作など、子どもたちの成長につながるさまざまな取組を継続していきます。

アート・サイエンススペースでは、子どもの発達年齢を意識し、さまざまな創作活動を週替わりで提供しています。身近な科学を楽しむ実験サイエンス!や、少し高度な工作おしゃれアートシリーズ、地域の専門家と協働した電子工作・陶芸などを行いました。子ども自身が創作活動を



アートフェア

思い思いの材料を自由に使って自分だけの作品づくりを!



プレイランド (クライミング)

こどもの城には児童館施設では全国最大級のクライミングウォールがあり、小学1年生から壁登りを体験できます。利用者の中にはチャレンジを重ねて、ロープを使ったクライミングや、クライミング選手権といった特別イベントへの参加をめざす子どもたちもたくさんいます。

力が発揮できたとき、うまくいかず悔し涙を流すとき、どれも大切な経験です。

家族や友達と高くまで登る、もっと早くゴールするなど、それぞれの目標に向かってがんばる子どもたちを応援しています。



トップロープ

令和6年6月8日(土)、9月14日(土)
12月14日(土)、令和7年3月8日(土)

第19回 クライミング選手権

令和7年2月9日(日)



イベントホール

かえっこキッズタウン ～ お金のやくわりをまなぼう!～

令和6年10月12日(土)～11月17日(日)

「はたらく」→「ためる」→「つかう」お金の使い方を遊びながら学ぶ体験型展示。

この町の通貨は「しろぼポイント」。4つの仕事をする、最大4しろぼポイントが稼げてかえっこの商品が買えるけど、かえっこの商品の値段は、1しろぼ・2しろぼ・3しろぼ・6しろぼ…。6しろぼポイントの商品は買えない!どうしよう!その解決方法は子どもによって様々です。

本当に欲しいものは何か?目の前のちょっと欲しいものを我慢してお金を貯めてみる?など、働いて稼いだお金を自分ならどう使うかを、子どもたちそれぞれが考えていました。



スターライトダンジョン

令和6年12月7日(土)～令和7年2月24日(月・振)

不思議なトンネルを通り宇宙へワープ!そこには、天の川のつり橋や、ブラックホールの迷路といった不思議な世界。

遊べるイルミネーションをコンセプトに、大人気体験型展示を冬季初開催しました。

子どもたちからも「今までで1番楽しかった」との声が聞かれる人気企画になりました。



平日の親子ふれあいイベント

みえこどもの城は未就学の子どもと保護者の平日の居場所として、さまざまな取組を行っています。

ファーストアートやベビーフォトで初めてを体験、ふれあい遊びやリフレッシュ体操で親子がより強くつながったり音楽会で癒されたり、ときには助産師さんから子育てのアドバイスを受けたりと、一年を通して親子でいろいろな体験に参加していただきました。

体験を通じて子どもがたくさんの刺激を受けながら成長する姿とともに、親同士が話し、共感し、つながる姿もこれらのイベントではたくさん見ることができます。そんな成長とふれあいの場をこれからも作っていきます。

ファーストアート

絵の具や手形足形スタンプを使った
はじめてのアートを体験します。



成長の記録を残す作品作り！

赤ちゃん和妈妈のための♪ 小さな音楽会

0歳から参加できる生演奏のコンサート
季節の音楽や童謡をさいて
赤ちゃんも大人もリラックス♪



子守唄でうとうとする子も…

音楽でふれあい遊び♪

リトミック要素を取り入れた音楽遊び
音楽に合わせて親子のふれあいや、
親子同士のふれあいを楽しんでいます。



お友達ができた子も♪

ベビーフォト

季節に合わせたフォトブースです。
子どもの記念日や家族に、
思い出に残る写真を
自由に撮影できます！



親子のための リフレッシュ体操

親子でのびのびと
身体を動かして
リフレッシュします。



だんだん、思うように
身体を動かせるよう
なっています！

助産師さんの 子育て相談コーナー

赤ちゃんのことや、
子育ての悩みなどを助産師さんに
ゆっくりと相談できる時間を
過ごしています。



移動児童館

みえこどもの城は県内唯一の大型児童館として地域の放課後児童クラブや児童館、放課後デイサービス、子ども会や子育て事業などにあそびを届けています。令和6年度も100カ所以上の施設を訪問し、約38,000人にご利用いただきました。

施設等の皆さんからは「あそびが広がった」「周りにいる大人も笑顔であそびの空間があたたかかった」などうれしいお言葉をいただいています。

これからも、県内の子どもたちの健やかな育ちにつながるあそびを届け続けます。



出張版キッズ☆おしごと広場 in 児童館

- 令和7年1月11日(土) 伊勢市小俣児童館・伊勢市中央児童センター・伊勢市御園こども広場
- 令和7年1月18日(土) 伊賀市老川児童館
- 令和7年3月8日(土) 玉城町立梅がおか児童館

みえこどもの城の大人気イベント「キッズ☆おしごと広場」を地域の児童館で実施しました。

今回で2回目となるこのイベントは、子どもたちの身近な場所でより多様な体験ができる機会を増やすことを目的に実施したもので、令和6年度は5つの児童館から139人の子どもが参加しました。

どの会場も子どもたちのわくわく感と笑顔があふれ、参加者の中には今回初めて児童館に来た子どももあり、これからも児童館を利用したいと話してくれました。

今後も地域の企業のご協力を得て多くの施設に出向き、おしごと体験を通して仕事や働くことへの子どもたちの興味・関心を高めるとともに、地域の児童館等の認知度の向上や活動の活性化につながるよう取り組みます。



株式会社ボンタイム(お菓子づくり)



有限会社深緑茶房(お茶屋さんのお仕事)



株式会社エスト(名刺づくり)

みえこどもの城利用者満足度「97%」

みえこどもの城では、利用者の皆様の視点に立ったより良い事業・サービスを提供するため、アンケート調査を実施しています。

アンケートでは、利用した子どもの年齢や、利用したブース、満足度などをお聞かしています。

満足度を問う「みえこどもの城は楽しかったですか?」の質問では、令和6年度は97%の利用者が「とても楽しかった」「楽しかった」と回答していただきました。

利用者からは、「こどもがわくわくドキドキの表情で体験している姿を見られてとても嬉しかったです。」

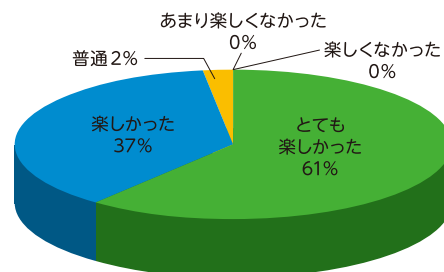
「子どもの成長に合わせていろいろ楽しめるのでまた利用したいです。」などのお声をいただきました。

また、個別のイベント・体験ブースについても様々なご意見をいただいております、しっかりとすべてのスタッフで共有し、今後の体験やイベントなど運営に活かしていきます。

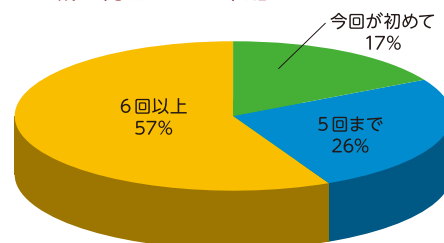
いただいたご意見を一部をご紹介します。

- 子どもが気に入ったようで、よく連れて行ってほしいと言われます。比較的安価で楽しませてもらっているの、うれしいです。
- スタッフの方の対応がいつも温かく、気持ちよいです。
- こどもの城に来るまでの道に花など魅力的な物などを置いてほしい。
- 事前申し込みできるイベントがもっとあるといいのと思います。

満足度について 「みえこどもの城は楽しかったですか?」



城に何回ぐらい来館されましたか





令和6年度

公益財団法人 三重こどもわかもの育成財団 決算報告書

貸借対照表

令和7年3月31日現在

(単位：千円)

科 目	当 年 度
I 資産の部	
1. 流動資産	43,813
2. 固定資産	375,901
(1) 基本財産	290,260
(2) 特定資産	85,185
(3) その他固定資産	456
資産合計	419,714
II 負債の部	
1. 流動負債	14,344
2. 固定負債	19,191
負債合計	33,535
III 正味財産の部	
1. 指定正味財産	
指定正味財産合計	331,578
(うち基本財産への充当額)	290,260
(うち特定資産への充当額)	41,318
2. 一般正味財産	54,601
(うち特定資産への充当額)	24,677
正味財産合計	386,179
負債及び正味財産合計	419,714

正味財産増減計算書

令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

(単位：千円)

科 目	金 額
I 一般正味財産増減の部	
1. 経常増減の部	
(1) 経常収益	
基本財産運用益	1,552
特定資産運用益	25
受託金	148,365
事業収益	20,672
その他収益	9,814
経常収益計	180,428
(2) 経常費用	
事業費	167,526
児童健全育成事業費	138,098
児童健全育成拠点事業費	12,832
青少年育成事業費	11,999
三重県委託事業費	990
収益事業費	3,607
法人管理費	12,064
経常費用計	179,590
評価損益等調整前当期経常増減額	838
損益評価等計	0
当期経常増減額	838
2. 経常外増減の部	
(1) 経常外収益	0
(2) 経常外費用	0
当期経常外増減額	0
当期一般正味財産増減額	838
一般正味財産期首残高	53,763
一般正味財産期末残高	54,601
II 指定正味財産増減の部	
一般正味財産への振替額	▲ 8,840
当期指定正味財産増減額	▲ 8,840
指定正味財産期首残高	340,418
指定正味財産期末残高	331,578
III 正味財産期末残高	386,179

令和6年度 みえこどもの城 利便性向上に対する活動について

みえこどもの城では、来館者からいただいたご意見や、スタッフの気づきをもとに、さまざまな改善活動に取り組んでいます。

① 1階・2階に新しい ウォータークーラーを 設置しました



② 1階エントランス横と、2階プレイランド前の ロッカーを新しくしました

子ども連れの皆さんの大きな荷物も入れられる大きさです。



みえこどもの城長期休館について

令和7年12月～令和8年2月までの3か月間、大規模改修工事のため、アート・サイエンススペース、プレイランド、舞台スペース、イベントホールなどみえこどもの城の大部分が使用できません。期間中は使用できるドームシアタープラネタリウム、研修室、カプラの部屋、ログハウス、屋外を活用したさまざまな事業を予定しています。また、「出張みえこどもの城」として各地に出向き、工作やカプラなど複数の遊びを体験できる事業を実施します。

ドームシアタープラネタリウム ならびにカプラの部屋	通常どおり
研修室	土日祝を中心に工作コーナー
ログハウス	土日祝を中心に遊具コーナー
屋外	「謎解き」などのイベントを実施予定

※詳細はホームページでご確認ください。